

# 1 学院の沿革

昭和18年 7月 北海道木船工補導所木船科(定員20名)として函館市吉川町90番地で開始  
 20年 6月 亀田郡亀田町字本町65番地に移転  
 20年 9月 函館建築養成所と改称し、建築科(定員40名)を新設

学院のあゆみ		訓練科目の改廃	
昭和21. 4	北海道庁立函館職業補導所として開所	昭和24. 3	木船科を廃止
23. 4	北海道立函館公共職業補導所に改称 (職業安定法の施行)	24. 4	木工科(定員20名)を新設
		26. 4	建築科、木工科を廃止し、内燃機関修理科(定員30名)及び溶接科(定員30名)を新設
		27. 4	機械科(定員30名)を新設
		31. 6	漁業無線科(定員30名)を新設
33. 7	北海道立函館職業訓練所に改称 (職業訓練法の施行)	33. 7	内燃機関修理科を内燃機関整備科に、漁業無線科を無線通信科に改称
		36. 4	内燃機関整備科を自動車整備科(定員40名)に改称
		37. 10	日雇職訓練定時制溶接科(定員30名)を新設
		39. 4	機械科を仕上科に改称
42. 1	庁舎等竣工 建設地: 亀田町字桔梗435番地(現在地)	44. 4	活版印刷科(定員40名)を新設 日雇職訓練定時制溶接科を廃止
42. 11	一種自動車整備士養成施設として指定		
43. 3	寄宿舎竣工	45. 4	仕上科を機械2科に、無線通信科を無線技術科に、 活版印刷科を製版印刷1科に改称
44. 1	活版印刷科実習棟竣工	46. 4	無線技術科の定員を40名に改正
44. 10	北海道立函館専修職業訓練校に改称 (新 職業訓練法の施行)	48. 4	製かん科(定員30名)を新設 製版印刷1科を製版印刷科に改称
		49. 4	無線技術科の定員を30名に改正
47. 2	製かん科実習棟竣工	51. 4	無線技術科を廃止し、電子機器科(普通訓練課程、 定員30名)を新設
51. 4	北海道立函館高等職業訓練校に改称	53. 4	自動車整備科を普通訓練課程に転換し、定員を30 名に改正
		54. 3	製かん科を廃止
54. 9	体育館竣工	54. 4	建築科(定員50名)を新設
		59. 4	製版印刷科を普通訓練課程に転換
		60. 4	機械2科を普通訓練課程に転換
		62. 4	機械2科を機械科に改称 建築科の定員を40名に改正
63. 1	北海道立函館高等技術専門学院に改称	平成元. 4	建築科の定員を30名に改正
		2. 4	機械科の定員を20名に、溶接科の定員を30名に改正
平成 8. 4	江差高等技術専門学院を廃止し、函館高等技術 専門学院江差分校を設置	3. 4	製版印刷科の定員を20名に改正
		9. 4	製版印刷科、溶接科の休科を決定
10. 3	実習棟新築工事竣工(着工 H9.7) 江差分校廃止	10. 3	製版印刷科、溶接科を廃止
		10. 4	機械科を機械技術科に、電子機器科を電子工学科 に、建築科を建築技術科に改称し、全科普通課程2 年、定員20名に転換 自動車整備科を普通課程2年、定員20名に改正
11. 3	管理棟・体育館新築工事竣工(着工 H10.6)	11. 4	総合ビジネス科(普通課程2年、定員20名)を新設
18. 3	寄宿舎廃止	16. 10	販売実務科(短期課程、定員10名)を若松分室で開講
21. 10	寄宿舎解体	19. 4	販売実務科(短期課程、定員10名)を学院に移転
		23. 3	総合ビジネス科を廃止
		23. 4	電子工学科をシステム制御技術科に転換
		30. 4	建築技術科の定員を10名に改正